

白杵市 施策評価シート  
(令和4年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	地域力創生課	望月 裕三	2305

コード	II-5-10	施策名	地域内交流・地域間交流
施策の方針	みんながつながり支え合う		
まちづくりの方針	地域の輪で心がかがよい、市民が集うまち(地域の絆)		
5年後のめざす姿	いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう隣近所や地域で助けあい、地域の特徴や資源を活かし活性する「地域力」を高めた地域共生社会の構築に努めます。 地域活動として行われる祭り、伝統行事、スポーツ活動や防災活動など各種の取り組みを推進します。地域振興協議会を中心に子どもから高齢者まで世代や性別を超え交流し、各種団体も連携することなどで地域の一体感の醸成を図り、顔の見える関係を築きながら地域活動の活性化を推進するとともに高齢者等の健康づくりや見守り、生活支援活動、児童見守りなど活動などの支え合い、助け合う仕組みづくりの構築を支援します。 地域活動を担う人材の育成、地域の自主財源確保や生きがいづくりの推進など自立的な活動につながるよう支援を行い地域活動の拠点となる施設の整備、維持管理に努めます。		
施策の内容	①すべての地区に地域振興協議会の設置を促すとともに、地域間の住民の交流を図るため、複数の地域振興協議会による合同イベントを支援及び地域内での支え合い、助け合いの「共助」の取り組みを支援します。 ②主体的に活動ができる一定規模の自治会になるよう、統合再編を促します。 ③地域振興協議会の活動拠点や地区集会所の整備に対し、必要な支援を行います。		

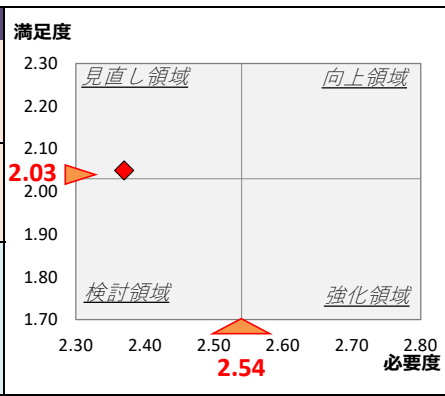
<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
地域振興協議会への集落支援員の配置【累計】	集落支援員が配置された地域振興協議会の数	目標 実績 達成率	箇所	12	12	14	16	18	18	
			%	100.0%	100.0%	94.0%				
			回	50	45	49	52			
共助の取り組み実施回数(年間)	防災関連、お年寄りの見守り活動、子どもの健全育成活動、生活支援活動(移動支援等)の実施回数	目標 実績 達成率	%	75.0%	70.0%	65.0%				
			目標							
			実績							
達成率	%									
目標										
実績										
達成率	%									
目標										
実績										
達成率	%									
目標										
実績										
達成率	%									

**指標の分析**  
市内18地域全ての地域で地域振興協議会が設立され、集落支援員の設置による活動の充実が期待されますが、現時点で目標に1つ足りない15地域での配置となっています。未設置の地域はのうち2つは現在、地区公民館として館長が配置されており、実質、集落支援員と同様の人員配置ができています。残る1地域については、活動内容の精査、人材の掘り起し等が課題となります。  
共助の取り組み実施回数は、コロナ禍の影響でR4年度は各地域で活動の自粛傾向が解けず、目標に至っていません。ウィズコロナを見越した地域活動の模索が必要な状況です。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R4調査)	見直し領域	2.37	2.05
市民意識調査結果分析	令和4年度実施のアンケート結果では、「必要度」が低く、「満足度」が高い「見直し領域」に位置しており、目標達成の状況やサービスの供給量を検証する必要があります。 「見直し領域」に位置している中で、特に「必要度」が低い状況にあります。地域交流や地域活動に関する、市民の関心が低いのは、地域共生社会の必要性等の周知が不足していることが考えられます。あわせて地域活動(交流やボランティア)に対する市民ニーズの把握も必要と考えられます。		



<次年度以降の課題>

令和5年度以降の課題  
地域振興協議会は市内全域で設立され、その活動は新たなステージに立ったといえます。施策の最終目的である、地域で支えあい、助け合いの環境づくりのため地域振興協議会が主体となり、生活支援事業の受け皿となるなど体制的な充実に取り組む必要があります。そのためには事務局員などの人材の確保や地域の特色を生かした自主財源の確保などが求められており、より効果的な支援を展開していくことが必要です。また、活動拠点の整備が必要な地域については順次、設置への支援に取り組んでいきます。

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R3年度実績	R4年度実績	令和5年度見込み			
1 地域振興協議会活動推進事業	・地域振興協議会運営支援(集落支援員の配置、情報提供、活動等の発信) ・活動補助金による地域振興事業への支援	地域力創生課	○	32,396	37,599	55,679	重点継続	○	
2 コミュニティセンター整備事業	・地域振興協議会の拠点施設の整備 ・R4整備事業:野津地区、下北地区	地域力創生課	○	12,827	39,855	13,241	重点継続	○	
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				45,223	77,454	68,920			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	全小学校区18地域において、地域振興協議会が設立されました。施策の最終目的である、地域で支えあい、助け合いの環境づくりのため地域振興協議会が主体となり、生活支援事業の受け皿となるなど体制的な充実に取り組む必要があります。活動の濃淡が見受けられることから、協議会の研修や交流を通じた刺激の場づくりが引き続き必要です。あわせて、市役所内部が連携し、地域支援に係る事業をスムーズに地域とつなぐ仕組みの構築も必要であり、10・20年先に地域がどうなるか見据え、引き続き効果的な支援・体制づくりを進めます。	課長評価	最重点施策であり、来年度強化する
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	令和5年度実施予定	内部評価	最重点施策であり、来年度強化する
------	-----------	------	------------------

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
強化	地域振興協議会の設置が市内全域にひろがり、地域の活動を実施する組織として認知されてきている。これまで自主的な取り組みしかなかったものも、市から補助も得ながら、内容の充実が図られている。また、拠点施設の整備も進んで、市が注力している施策と実感している。今後も、取り組みを強化してほしい。

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

地域振興協議会の活動がより市民に認知され、更に多くの住民を巻き込んだ活発な活動に繋がるよう取り組みの周知に努めていきます。また、地域振興協議会間の連携も強化しながら各々の協議会が地域課題の解決に主体的に取り組むことができるよう仕組みづくりの支援を進めます。あわせて、必要な拠点施設整備にも継続的に取り組んでまいります。